

自然環境 ～とくしまの自然の偉大さ、生命の尊さと神秘を味わおう～

里山について考えよう ～竹工作(箸・水鉄砲・竹馬など)～



対象	小学校中学年～一般	実施方法	講話+体験
参加可能人数	30人程度	所要時間	60～90分
ねらい	里山と地域とのつながりを考え、身近な里山の自然を守り、里山との関わり方を学びます。		
内容	里山とは、人が自然に働きかけて生まれた空間です。最近、日本各地で里山が荒れています。その原因の一つに、竹害の問題があります。竹林の手入れを怠ると、竹は生殖力が強いので周囲の森林にまで侵入し植生を破壊します。こうした里山の現状を学習したあと、竹工作をすることで、昔、竹がどのように活用されていたのかを知り、里山を守る大切さを学びます。		
講師からのメッセージ	初めて竹工作をする子どもがほとんどです。子どもたちに、試行錯誤するうちに“できた”という喜びを味わってもらいたいです。		
講座を受けての体験談	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて鋸やキリを使うという子も多くいましたが、竹を切ったり作業をしたりしているうちに、だんだんと上手に使えるようになりました。 ・プラスチックの玩具が多い中、自然の竹を使った工作がこれからも増えていくと良いなと思いました。 		
備考	<p>【開催までの準備】 会場の広さ、竹の準備などの事前打合せが必要です(日程調整や事前打合せの結果、希望に添えない場合もあります)。</p> <p>【申込者にお願ひすること】 活動における保険加入</p>		



身近な自然を体験しよう



対象	幼児・小学生(保護者または引率者同伴)～一般	実施方法	体験
参加可能人数	20～30人程度	所要時間	60～120分
ねらい	遊びをとおして、自然と触れ合うことで自然環境の大切さを知るきっかけづくりとします。		
内容	<p>自然に親しみながら、五感を使い、自然の恵みや人と生き物との関わりを学ぶプログラムを実施します。体験内容は、申込者と相談しながら決めていきます。</p> <p>【これまでに実施した教室内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■徳島中央公園 生き物観察(アカテガニ、ザリガニなど)(春～初夏) ■とくしま植物園 竹林探検、生きもの観察(昆虫、花など)、どんぐりさがし(晩秋～初冬) 		
講師からのメッセージ	子ども自身が、自然や生き物の命と人との関わりを見つけたり、考えたりできるお手伝いができればいいなと思っています。		
講座を受けての体験談	<ul style="list-style-type: none"> ・松ぼつくりのじゅんたん、竹を叩く音、森を歩く感触、五感をとおして、身体で山の自然の魅力を感じることができました。 ・普段歩くことのない山道を歩くことができ、初めは怖がっていた子どもも歩き終えると、自信につながった様子でした。 		
備考	<p>【開催までの準備】 観察場所の選定などについて、事前打合せを行います。 (日程調整や事前打合せの結果、希望に添えない場合もあります)</p> <p>【申込者にお願ひすること】 ・現地までの移動 ・野外活動における保険加入</p>		



セミの羽化を観察しよう (夏限定:7月下旬~8月初旬)



対象	幼児・小学生(保護者または引率者同伴)~一般	実施方法	講話+観察
参加可能人数	20人程度	所要時間	90分(19:00~20:30ぐらいの間)
ねらい	身近な昆虫であるセミの羽化を観察することで、命の尊さ、自然環境を守る大切さについて学びます。		
内容	<p>【講話】セミの一生についてのお話 写真を用いて、セミの一生や私たちの生活と自然との関わりについて説明します。自然環境を守る大切さについて学びます。</p> <p>【観察】セミの羽化観察 申込者の近くの神社や公園など(たくさん木がありセミがいるところ)で、セミの羽化を観察します。セミの羽化は、夕方7時ごろから始まり約1時間かかります。</p>		
講師からのメッセージ	セミの羽化を観察するときは、LEDのように強い光をセミに当てないようにし、じっくりと観察しましょう。		
講座を受けての体験談	セミの羽化の観察では、子どもから大人まで驚きと感動を味わいました。そして、生命の美しさや神秘を感じられ、とてもよい経験となりました。		
備考	<p>【開催までの準備】 観察場所の選定などについて、事前打合せを行います。観察場所は、セミの幼虫が出てきた穴が、ぼつぼつと開いている所が適しています(日程調整や事前打合せの結果、希望に添えない場合もあります)。</p> <p>【申込者にお願ひすること】 ・現地までの移動 ・野外活動における保険加入 ・保護者または引率者の同伴(開催時刻が遅いため、子どもが観察を行う場合は必須)</p>		



干潟の生き物を観察しよう



対象	幼児・小学生(保護者または引率者同伴)~一般	実施方法	講話+観察
参加可能人数	20~30人程度	所要時間	60~120分
ねらい	干潟の生き物を観察し触れることで、人と生き物、自然との関わりについて学びます。		
内容	<p>【講話】干潟の役割について 干潟は、さまざまな種類の生き物が生息する場であり、海の生き物にとっては子どもを生育する場でもあります。干潟で生息する生き物は、水質浄化の役割を担っています。干潟の役割について、子どもたちにも分かりやすく説明します。</p> <p>【観察】住吉干潟(吉野川)・勝浦川河口干潟(勝浦川) 干潟で実際にカニや貝を捕まえ観察します。観察したあとは、生き物は干潟にもどしてやります。</p>		
講師からのメッセージ	干潟で遊びながら、豊かな生態系や自然の素晴らしさを感じ、自然を大切にすることを育むきっかけになってくれればよいなと思っています。		
講座を受けての体験談	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、自分自身の目で観て、触れ、感じることにより、「生命ある生き物」を実感することができたのではないかと思います。 ・子どもたちが大喜びで目を輝かせて夢中になって遊ぶ姿がとても印象的で、自然の偉大さを実感し、子どもたちの心に残る感動体験となったことをうれしく思います。 		
備考	<p>【開催までの準備】 干潮時刻、観察場所などについて、事前打合せをします。(観察場所の状況等により、希望に添えない場合もあります)</p> <p>【申込者にお願ひすること】 ・現地までの移動 ・野外活動における保険加入 ・初夏~夏季の開催となるため、熱中症対策</p>		

